



한청통신

韓 青 通 信

2009年11月号

今号のラインナップ：「2009年度秋期ウリマル教室開講式」報告 / 全国活動報告 / 盟員の声「韓青50年史学習会に参加して」 / 情勢NEWS / 支部紹介「日々是はんちゃんー東京本部足立支部」 / 今後の予定 / 編集後記

秋期ウリマル開講式を全国各地で開催！



韓青全国は「2009年度秋期ウリマル教室開講式」を開催しました。11月4日に神奈川県本部、愛知県本部、三重県本部、京都府本部、大阪府本部、兵庫県本部が、11月15日には東京本部が各本部・支部単位で開催しました。今回の開講式にも多くの新規参加者が集まり、全国各地で盛り上がりましたので、その報告をします。

開講式ではそれぞれ授業のオリエンテーションや韓青の紹介、ウリマル模擬授業など地域ごとに趣向を凝らした企画を織り交ぜて行なわれました。

神奈川県本部では既存の受講生が半年間の学習の成果をウリマルで発表し、三重県本部では子音と母音のボードを使って文字を楽しみながら学ぶハングルパズル行いました。また、京都府本部ではウリマルクイズで歴史や地理、スポーツなど祖国や民族に関する知識にウリマルで触れ、兵庫県本部では実践的なウリマル体験授業などを行ないました。他の本部もそれぞれウリマルテストや交流企画を準備

して、新規生も既存の受講生もみんなが楽しめる内容で大いに盛り上がりました。

また、各地域ともに開講式が終わった後は、みんなで交流会を行ないました。同胞青年同士で胸襟を開いて語り合う時間は、何にも代えがたいもの。自分のこと、民族のこと、たくさん話を分かち合いました。同胞青年が出会い、民族をふれあい、ともに楽しく学び高めあえる場所が韓青のウリマル教室です。交流企画の腕相撲大会で大盛り上がりした本部などもあったようですが、交流の空間も大切な一部ですよ。気がつけば終電ギリギリなんてことも、全国共通でした。初めて会ったのに時間も忘れる楽しさは、まさに韓青ならではの！同じ民族同士、時間や経験を飛び越えて通じるものが、やはりあるのです。

初参加にも関わらず「半年後にはマスターします！」と力強く宣言する者や、「参加するまでは言葉は別に必要ないと思っていたけど、やはり自分の言葉であるウリマルを学んでみます」という感想が多く寄せられました。そのような声を聞いて、今回の開講式を通じて参加者自身がウリマルを学ぶことの意義を深め、各自が民族的に生きる出発点として決意を高めることができたかと確信しています。

開講式は終わりましたが、まだまだ受講生は募集中です。興味のある方は全国の本部・支部をたずねてみてください。

活動紹介



統一マダン神戸

9月27日(日)、「分断の悲しみの涙を 統一の歓喜の涙に!」「地域から統一のパラム(風)を!」を合言葉に第13回統一マダン神戸を開催しました。当初予定された5月末の開催が、新型インフルエンザの影響で急きょ延期せざるをえないという困難を経ながらの開催となりましたが、約4千人の参加者が会場につめかけ、例年以上に活気あふれるマダンとなり、屋台も売り切れ続出でした。



また、今回の神戸マダンでは、韓青兵庫県本部と朝青兵庫県本部が「6・15 共同宣言の『わが民族同士』の精神で、在日同胞青年も互いを尊重し、協力し合い、在日同胞のより良い未来のために手を携えていくことを宣言します」と共同アピールを行い、「京義線に乗って」の歌に合わせて律動を披露しました。

舞台ではほかにも、朝鮮舞踊や、サムルノリ、獅子舞、和太鼓などの発表のほか、日本軍「慰安婦」被害女性と共に歩む大阪・神戸・阪神連絡会からのアピールも行われ、韓国から来日した北側子ども栄養パン工場事業本部のメンバーから南北海外同胞と日本の人々がともに平和な未来をつくろうと同事業への支援アピールも行なわれました。

最後に民族楽器にあわせて会場全体で踊りの輪をつくり、統一への願いを込めた「ウリエソウォン(わたしたちの願い)」を合唱し、朝鮮半島の統一と東アジアの平和な未来に向けて力を合わせようと誓い合いました。

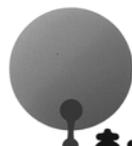
ソリキョル民族楽器ワークショップ

10月24~25日の2日間にかけて、釜山で活躍する伝統芸術グループ「ソリキョル」が韓青のために来日し、民族楽器のワークショップを共同開催しました。韓青近畿地協のメンバーがたくさん参加し、初日はソリキョルのソルチャンゴ公演を観た後、初級班と上級班に分かれて講習を受けました。初級班は、チャンゴの叩き方や呼吸法など、楽器の基礎から学び、真剣な表情で一生懸命叩いていました。また、上級班はソルチャンゴのチャンダン(リズム)を学び、自らの技術向上に励みました。2日目は、基礎練習を終えた初級班と、昨日の復習を終えた上級班がともにサムドサムルノリのチャンダンを学びました。韓青を卒業した先輩たちもソリキョルに会い、たくさんの差し入れを持ってきてくださいました。

ワークショップの後、ソリキョルを囲んで交流会を開き、つたないウリマルながらも一生懸命ソリキョルと話をしようとする盟員の顔が印象的でした。ソリキョルは「来年からは1ヶ月に1回ワークショップをしよう!」というビックリ提案が出るなど、とても実りのあるワークショップでした。1ヶ月に1回になるかはまだ未定ですが、来年も開催しますので、民族楽器に興味のある方は、ぜひ参加してくださいね♪

韓国語教材専門インターネット書店

ハンゲルの森



Internet Bookstore

한글의 숲

<http://www.rakuten.co.jp/eac-hg/>

韓国風居酒屋

かえりがけ

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町 1-1
電話: 0468-65-2300

東京本部第11期定期大会開催！！

東京本部は11月1日に都内の文京区民センターで第11期定期大会を開催しました。会場には、韓青全国の仲間たちだけでなく、韓統連東京や民主女性会でご活躍されている東京本部の多くの先輩方をご参席して下さい、またこれまでの韓青東京の活動を反映して、朝青東京本部などの同胞青年団体のほか日本人の連帯団体も多数参加して下さり、盛大な雰囲気の中で大会は催されました。



前執行部は、情勢が大きく激動した7年半の執行期間を、①祖国の平和や統一、民族の和解と協力、差別のない社会のために貢献した ②祖国と在日同胞青年の真の架け橋としての役割を担った ③同胞青年の民族的素養を育んだ ④それらの過程で組織の主体力量を強化した—と総括しました。

アメリカ・ブッシュ政権が覇権主義をあらわにした世界情勢、在日団体への執拗な弾圧攻勢や「5・17 共同声明」の破綻策動に見られる排外主義が強まる日本社会の風潮、切りひらかれた6・15時代と李明博政権による歴史の逆戻しといった情勢の中で、在日韓国人青年が民族的に生きようとする時、民族の運命と自身の運命を照らし合わせることで民族の正しい歴史発展に寄与することこそが真の意味で民族的に生きることであるとして、民族的正義の道を突き進んできた韓青運動の政治一番地である東京地域の責務を見事に果たしたものといたします。

また、大会では人事交代も行なわれ、新委員長には徐崇前組織部長が、副委員長に金広華前組織次長が選出されました。

定期大会やその後に開かれたレセプションでは、新委員長団をはじめとした東京本部の仲間たちから、自身の青春をかけてこの自主・民主・統一運動にまい進していくという力強い決意が表明されました。

京都府本部は地方委員会を開催！！

京都府本部は10月12日（月）に京都府内の部落解放センターで地方委員会を開催しました。



地方委員会では、これまでの28期執行部の活動の成果や課題を総括し、これまで大きな情熱で京都地域での韓青運動を先頭で展開されてこられた崔榮子委員長や申彰吾副委員長ら4名の先輩方が韓青京都から卒業することになりました。

レセプションでは、韓青全国の仲間たちや京都府本部の先輩方から、今後、韓青京都を担う若い盟員に対してあたたかい叱咤激励の言葉をいただき、若い仲間たちからは「自主・民主・統一運動をより強く発展させていくためにも、しっかりと学び、固く団結しながら青年の情熱で活動していく」という決意が語られました。

炭火烧肉・韓国酒家

ビヤンド

<http://www.biyangdo.com> ~飛揚鳥~

〒108-0014 港区芝 5-22-6 TEL 03-3453-2383

☆ご宴会・ご会合に2・3Fのお座敷をご利用ください

(各階40名様まで)

焼肉 晚 翠

ばんすい

〒108-0014 東京都港区芝 5-23-10
TEL & FAX 3452-0061

第2期100日間運動！闘争記録！

韓青では第2期100日間運動として、各地で民生・民主・平和・統一を訴える活動を展開しました。

まず9月17日には、朝青、留学同、日本社会主義青年同盟（社青同）とともに構成した実行委員会の主催で「東北アジアの平和と日朝国交正常化を考える若者の集い～日朝ピョンヤン宣言7周年を迎えて」を都内豊島区のイーストステージ・いけぶくろ文化ホールで開催しました。

同集会では、映画「ヒロシマ・ピョンヤン」を製作したフォトジャーナリスト・伊藤孝司さんを講師に招きました。伊藤さんは1998年以降、23回にわたる訪朝で撮影した写真などを紹介しながら、「植民地支配や冷戦構造など、過去の清算や朝鮮半島の歴史を注視してこそ日朝の関係改善と、在日コリアンの人権が守られる」と訴えられました。また集会では日本政府の対北朝鮮敵視政策の見直しや、経済制裁の解除などを求めた集会アピール「政府への要請文」を採択し、後日、実行委員会を中心に日本政府に申入れ行動を行う予定です。

10月3日、4日には第2期100日間運動の集約点として、「韓国の民主と人権、朝鮮半島の平和と統一を求め！」をテーマにしたシンポジウムを、韓統連、女性会、学生協、そして日本の連帯団体とともに東京（3日）、名古屋、大阪（ともに4日）で開催しました。各地のシンポジウムには、国内からのゲストとして韓国進歩連帯のハン・チュンモ、共同代表が東京と名古屋で、イ・ガンシル常任代表が東京と大阪で講演しました。



ハン共同代表とイ常任代表は講演で、李明博政権の対北政策を批難するとともに、「朝鮮半島の非核化と平和のためには、北朝鮮と米国が戦争状態を集結させる平和協定の締結が不可欠であり、現在の朝米対話によって両国間の関係は大きな進展を見せるだろう」と展望し、“併合条約”から100年を迎える2010年を民族の団結と韓日連帯で飛躍の年にしようと訴えました。また各地のシンポジウムではアピール文も採択しました。



10月16日には、6・15海外側委員会の主催で「6・15共同宣言、10・4宣言固守・実践 海外同胞大会」が都内の一ツ橋ホールで開催されました。大会には米国、ヨーロッパ、カナダなど1,200人の海外同胞が結集しましたが、これほど海外活動家が東京に結集したのは1994年の汎民族大会以来のことであり、同大会に対する海外同胞の意気込みの高さが伝わってきました。会場にはこの日までに日本と海外各地で展開され、韓青も各地域で行った「統一旗寄せ書き運動」の統一旗がところ狭しと

展示され、私たちの統一への強い意志を誇示することとなりました。

郭東儀委員長の大会報告、海外同胞大会決議文と日本政府に対する特別声明を採択しました。2部の「海外同胞文化芸術の夕べ」では、韓青東京と神奈川がノレアンサンブルを発表して、統一運動の現場で生き活きと活動する海外同胞青年の姿を、海外の先生、先輩方に存分にアピールすることができました。また祝賀宴でも、韓青が律動や群舞で会場に大いに盛り上げ、海外同胞の団結にも一役買うことができました。

しかし海外同胞大会では、日本と民団の一部右派勢力が妨害行動を行うなど、分断勢力の動きも目につきましたが、それだけ注目されていたといえるでしょう。100日間運動は節目を迎えましたが、今後も自主・民主・統一運動にまい進していきます！

「韓青 50 年史学習会に参加して」

兵庫県本部 尼崎支部 ヤン・サエガ

今年の春から 5 回にわたって開催された韓青史セミナーですが、私は参加しながら大変勉強させていただきました。

はじめの学習会の講師は、中央本部の朴明哲文教部長でした。解放直後の朝鮮半島の情勢から、韓青の誕生までの話をさせていただきました。解放後、祖国に帰りたくても色々な壁があり、犠牲者が出たりして日本に残ったことを知りました。厳しい中、民族学校を作り民族教育をしながら青年たちが闘ってきた出来事がたくさんあることも知りました。

2 回目から最後のセミナーまでは、文世賢中央委員長でした。韓青が誕生してから現在までの流れについて話をさせていただきました。私自身、歴史についてまったくわかっていなくて、講師の質問にほとんど答えることができず、恥ずかしかったです。でも、一生懸命に話をしてくれて汗を流しながら、わかりやすく説明をしてくれました。

雑談もありましたが、私たちに韓青誕生前から現在に至るまでの歴史を「伝えたい」という気持ちが強く伝わってきました。セミナー中、委員長たちが「輝いているなあ」とその姿に見とれていました。セミナーが終わると、もう次のセミナーが楽しみになり、待ち遠しい思いでした。

私自身、全く知らないまま韓青に入って一年目ですので、大事な歴史をセミナーの中で教えていただき、とてもありがたかったです。

色々教えてもらい、もっと知りたい気持ちが強くなりました。今回のセミナーだけでなく、私たちの支部・本部でもセミナーがあり、それには出来るだけ参加して、勉強しています。韓青史のセミナーは終わりましたが、学んだことをもう一度読み返して思い出して、後輩たちに伝えたいです。

来年の秋、韓青は誕生 50 周年を迎えます。この 50 年、いろんな壁にぶつかり大変な時代でした。青年たちがコツコツと前向きに立ち向かってきた歴史があったので、今の韓青があると私は感じています。これからも、みんなと一緒に活動していきたい気持ちでいっぱいです。私も 50 年の韓青史の一部になりたいと思いました。

韓青中央・神奈川OB

郭元基

韓青 50 周年を応援します！

韓統連神奈川



情勢NEWS

＜さびた刀「国家保安法」を とき始めた李明博政権＞

10月4日から6日まで、北朝鮮を公式親善訪問した中国の温家宝首相と金正日国防委員長が会談を持ちました。その席で金国防委員長は「朝米2国間会談を通じて両国間の敵対関係を必ず平和的な関係に転換すべきであり、状況を見たらうで多者会談をおこなう。」と表明しました。6者協議を示唆したこの発言は、オバマ政権に朝米直接協議の名分を与えることになりました。また、朝中は「経済援助に対する交換文書」を締結し、中国は2000万ドル（約18億円）規模の食糧・エネルギーの無償援助を約束したほか、総額は2億ドルの経済支援と言われる技術・教育・観光分野の協力協定を結びました。

この「朝中会談」の直前に中米首脳会談がおこなわれていたことも含め、この「朝中会談」が示すものは、対北制裁が事実上終結し、朝米関係が完全に対話局面へと変化したことを意味すると言えます。

実際に、朝米の直接対話は10月24日から30日にかけてニューヨークでおこなわれ、後日、米務省のボスワース北朝鮮政策特別代表が年内には訪朝することが公式に発表されました。

このように、朝鮮半島情勢が対決局面から対話局面に転換していく過程で、「6・15共同宣言、10・4宣言固守・実践 海外同胞大会」が10月16日に都内で開催され、多くの海外同胞が参加するなか、米国に対して、対北敵視政策の完全な放棄をすることと、その真意が確認できる可視的な措置をとるよう求め、李明博政権には、情勢の機会を逃さず、誤った対北対決政策を撤回して、6・15共同宣言と10・4宣言を誠実に履行するよう求めました。また、日本政府に対しても真しな過去清算を求めました。

しかしその一方で、今回の大会に参加予定であった中国地域代表が、朝鮮籍を理由に日本政府の対北朝鮮制裁措置によって入国を拒否され、米国と欧州の代表が成田空



空港で入管当局から不当な取り調べも受けました。また、大会の開会時刻にあわせて一部の同胞団体が日本人団体とともに、会場周辺で妨害活動をおこないました。

韓国国内でも、李明博政権の民衆への弾圧、特に統一運動団体への弾圧が日に日に深刻で、今や民主主義の片りんさえ見いだせない状況になっています。デモや集会の禁止、労働者のストライキへの暴力弾圧、国家保安法の乱用、不当な押収捜索、民間団体への盗聴、韓統連議長らへの不当な押収捜索と会員団体への脅迫、入国拒否など、枚挙にいとまがありません。

朝鮮半島をめぐる情勢が「対立から和解へ」と大きな変化のきざしをみせる時、これまでもそうであったように、そういった動きを望まない、対立と分断によって自身の存在が保証され、「国家保安法」によって既得権を得ている勢力が必死に情勢を後戻りさせようとしします。彼らが最も恐れていることは、6・15を支持・履行していく勢力が強まることであり、真の民族の和解と統一へと向かっていくことです。だから彼らは「わい曲教科書を使え」と主張する日本人グループとも手を組み、必死になって「海外同胞大会」へ圧力をかけるのです。今、和解と統一を求める勢力とそれを望まない勢力との最後の綱引きが展開されているといえます。「海外同胞大会」でも示したとおり、民族史を逆行させる抑圧の権力機構を解体し、真の同胞社会の和合を成し遂げる主体を強化することが求められています。

日々是はんちゃん 全国支部紹介

Vol.9 東京本部 足立支部

毎度おなじみの支部紹介。今回は東京の足立支部です。紹介記事が、食べ物に始まり、食べ物に終わる・・・といった構成になっています。委員長の人柄がうかがえますね（笑）

全国のヨロブン、アンニョンハセヨ。すっかり涼しくなりましたね。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋・・・。そして足立支部はやっぱり食欲の秋。食べてるときが一番幸せです☆みんなよく食べ、よく笑い、人の話を聞かないくらいよく喋ります。人が集まると常ににぎやかでほんわかしています。

足立支部は、毎週水曜日のウリマルと隔週月曜日に支部セミナーを展開しています。また、フリーマーケットを開催したり、先輩お宅訪問などで常に何かしらの交流があります。

☆民族のア・ダ・チ！

つい先日は、地域に根ざした活動を試みて、「あだち国際まつり」でサムルノリを披露してきました。清々しい秋晴れの下、足立支部盟員が鳴らす民族楽器の音色が気持ちよく響きわたりました。観客も多い中、チョゴリに民族楽器の私たちはひととき目立ちます。ほどよい緊張感もありましたが、やり終えた後は、緊張で強張った顔も笑顔に変わり快感でした♪民族の主張を秋の空の下で体現できたことに爽やかな達成感を抱きました。

☆食のア・ダ・チ！

そして日々の活動の後は、毎回鍋で交流しています。春夏秋冬問わず鍋パーティーです。鍋は野菜をいっぱい入れると、安くて量もあるので、肉類が少なくても何かとごまかせます。野菜不足は解消でき、熱くて大量に汗もかくので、満足した気持ちになれるのです。鍋当番の、その時の気持ちで、鍋の味は毎日違います。個人的に具材としては、ちくわぶがオススメ☆基本はキムチ鍋ですが、味噌鍋、しょうゆ鍋、その他諸々たくさんあります。特別な日には、サムギョブサル食べました◎豚肉最高！！



☆学習のア・ダ・チ！

毎日食欲満載の足立支部ですが、セミナーにも力を入れます。講師になる盟員それぞれが気になることをテーマに掲げて、支部の中で展開します。良心囚や、民族学校、小松川事件、韓国の徴兵制などなど・・・時には重くて深いテーマもありますが、在日同胞青年としての立場に立って学習を積み重ねることで、より充実した支部空間を作り出しています。同世代の仲間と共に、知らなかったことを知っていく学習作業を繰り返す中で、「はっ！」と気づかされることは数多く、互いに刺激を受けながら、さらなる意欲が湧いてきます。良い循環ですね。継続は力なり◎

韓青足立支部は、常に学習、常に笑い、常に美味しい食を求め、より充実した支部を追求します。一人でも多くの在日同胞青年とハンチョン民族学校の中で思いを共有したいと思っています。

PICK UP! ◎第 46 回韓青全国冬期講習会 開催!

韓青の冬の風物詩、冬期講習会「スノーフェスティバル」の季節がやってきました！今回でなんと 46 回目です。日本全国から同胞の仲間たちが集まり、スキー・スノーボードにゲームと民族文化を満喫！同世代の仲間たちと「在日韓国人である自分」を見つめあい、語り合える韓青のスノーフェスティバル。同胞青年のみなさまのご参加を、こころよりお待ちしております。。



日 程：2010年2月19日(金)～21日(日)
 ※18日(木)の深夜出発
 場 所：長野県 北志賀高原 宿泊先-シャレー竜王
 費 用：一般/28000円 高校生/23000円
 内 容：スキー・スノーボード、グループディスカッション、民族文化マダン など。

【お問い合わせ、お申し込み】

Tel : 0120-734-101 (フリーダイヤル)

Mail : chuo@han-chung.com まで。

年末、年始もイベント目白押し!

○韓青関東地協 成人祝賀会 & 新年会

日 時: 1/10(日) 17:00～ 場 所: 東京・銀座

○韓青中部地協 新年会 & 成人祝賀会

日 程: 1/17(日) 場 所: 四日市市内

○韓青近畿地協・学生協関西 新年会 & 成人祝賀会

日 程: 1/17(日) 場 所: 四日市市内

○各地方本部 送年会・クリスマスパーティ

日程・場所は各地方で異なりますので、お問合せください。



編・集・後・記



韓青通信、気づけば今年最後の号となりました。少し早いですが、2009 年を振り返ると・・・今年も激動の 1 年でした。韓国では前大統領が 2 名逝去され、日本では自民党政権が交代し、朝米関係が対立から対話局面と移り変わりつつあります。来年は 6.15 共同宣言 10 周年。そしてなにより韓青誕生 50 周年！歴史の転換点を迎える中、韓青通信もより紙面を充実させるべく来年もがんばります！